

港北区災害ボランティア連絡会ニュース



事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561

88号

FB 港北区災害ボランティア連絡会

2020年12月

*入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください



シミュレーション訓練から何を学ぶのか

「コロナ禍での災害ボランティアセンターの運営を考える」

今年のシミュレーションは新型コロナウイルスが流行している中、感染の危険性を回避しながら、どうボランティアを安全に派遣できるか、活動先の安全はどう確保できるかなどの難題を解決する訓練となります。皆さんの知恵が必要です。

シミュレーションとは実際にはできないことを替りの方法で実験をすることです。飛行機の操縦の訓練で使うのにフライトシミュレーターがあるように、実際の動きを別のシステムで再現し体験するのがシミュレーションです。

災害ボランティアセンターの運営も、実際に災害が起きたときに訓練するわけにはいかないので、条件を設定して現実の動きを再現できるような訓練をすることになります。今回は「コロナ禍での災害ボランティアセンター運営とは」と言う難しい課題です。

新型コロナウイルス対策ではやるべき事は

- ① マスクの着用と清潔確保
- ② 定期的な換気
- ③ 3密を避ける



屋外での開設も必要かも

以上の条件でボランティア受け入れ、現場への送り出し、など活動してもらうち、またスタッフをどうすれば感染の危険性を回避できるのか、の難しい条件をクリアーできるかを検討する訓練となります。

今夏の熊本での水害現場ではボランティア募集を県内に絞りましたが、それで危険性が完全にゼロにできるわけにはなりません。大勢が集まれば感染確率は高くなってきます。幸い今までのところ災害ボランティア関係で感染が拡大したと言う報告は聞いていませんが油断はできません。支援の保健師やカメラマンが陽性者だった例はありましたが、幸い地区での感染はありませんでした。しかし神奈川県内でも感染者は増えてきています。

大勢集まらないと被災者への十分な支援ができない、しかし大勢集まれば感染の拡大が懸念される、と言う二律背反をどうするかが課題となります。そのためにはボランティアの待機場所や誘導方法、受付処理などすべてを点検する必要があります。 (宇田川)

リレー連載 我が家の防災 ②7

宇田川さんちの防災対策

我が家は築40年以上だが、解体屋が苦労すると言う2×4工法を選んだので倒壊する心配は無いと思う。家具の固定は昨年ようやく完了した。窓ガラスは以前空き巣に入られた時飛散防止フィルムは地震対策だけではないと思い知らされ一部だが施工した。なので自宅内で死ぬ危険性はほとんどない(はず)。ただ書斎にいるときに地震が起きると作り付けの本棚は倒れないが、本が降ってくる可能性はあり、以前静岡の地震で布団の脇に本をうず高く積んでいた人が亡くなった事例があるので怖いとは思っている。

生き延びるための準備では、東日本大震災で痛い目にあった。当時ちょうど米がなかったのである。そこで毎日災害用備蓄食を食べ続け(当時米が売り切れた)毎日災害食を食べる辛さを体感した。何かのアンケートで災害食では白粥が一番評判が良いと読んだがうなずける。それ以来米は切らさないようにしている。我が家には電気釜が無く普段から鍋で炊いており、一応かまどと自作のロケットストーブがあるし、羽釜や鉄鍋もあるので技術的な困難度は低いので、生き延びる事は可能(なはず)。

発災時には私設救護所を作って近隣の負傷者の手当てや救出活動をするつもりである。そのための道具はベッド



ベッド下のに救護・救出用品、食料、などを入れている

下の救護・救出用品や食料を、押し入れに鋸やバールを複数置いてある。最近はこのような

大工道具を持たない家庭が多いので心配だ。(阪神大震災ではこれが無くて助けられない事例が多かったが25年を経て状況は悪化している)

ライフラインでの心配は電気である。この解決が1番難しい。二階ベランダに日除けを兼ねてソーラーパネルを並べれば良いと思うこともあるが、反面この先何年生きていくのか分からないので新たな投資は避けたいと言う高齢者特有の発想が頭をもたげる。こういった点が老人の最大の弱点だと自覚している。

「劇的ビフォアアフター」に学ぶ防災対策

毎回楽しく見ているが、ここに出てくる建築士の活動には災害ボランティアと共通点があります。

- 1、最新技術、工法、用具、用品に精通している
- 2、地元のネットワークを熟知しておりそれを生かしている

ボランティアセンター機能で大事なものは地元資源や集まったボランティアの力を最大に発揮してもらうことです。そのためには上の二つをどれだけ引き出せる力を持っているかによります。そのために普段からネットワーキングして、それぞれの力を知っておくことが必要です。それも大事な災害ボランティア活動です。(宇田川)

編集後記

☆パソコンが壊れデータが消えたため、本号は2ページです。バックアップ必須ですよ。(宇田川)

☆先日災害食実習をしました。「非常用炊き出し袋レシピ」でネット検索してみてください。(室伏)

☆備蓄のための食糧はだいぶ減りました。1年前からローリングストックにしました。米と水大事です。(付岡)

☆ストックの水を確認したら2ケース@500ml×60本が今月で賞味期限切れでした。買っておかないと。(中島)